

# 学校だより 9月号

令和8年9月1日 第5号



大田区立多摩川小学校 校長 並木 昭  
<https://www.ofa-school.ed.jp/tamagawa-es/>

学校だよりはデータ配信(tetoru)になります。  
本校HPIにも掲載しています。ご確認ください。

## 二百十日が穏やかに過ぎますように

校長 並木 昭

「災害は忘れた頃にやってくる」のではなく、忘れる間もなく起こっています。平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災以降の約30年間における最大震度7の大地震だけでも、新潟県中越、三陸沖、熊本、北海道胆振東部、能登、そして、7月の熊本。私たちの生活は、自然災害の脅威と常に隣り合わせです。

また、猛暑や風水害も年々頻発しているように感じます。稲が開花を迎える頃とされる二百十日(9月1日頃)は、昔から農家の厄日として恐れられてきました。昭和34年(1959年)9月の伊勢湾台風では、完成間もない東京タワーが最大幅で約90cm揺れたのだそうです。翌年の昭和35年(1960年)に、大正12年(1923年)の関東大震災があった9月1日を防災の日とする閣議決定がなされ、今年で制定から66年となります。

学校では、自然災害に対して「正しく恐れる」と「正しく備える」ことの大切さについて、防災教育を中心に指導を行っております。「引き渡し訓練(引き取り訓練)」もその一環です。保護者の皆様におかれましては、今後も通学路上の安全に関して気がかりなことがありましたら、学校に御一報をお願いいたします。有事の際のお子様の引き取りにつきまして、引き続き御対応をお願いいたします。

最近、千葉や北陸三県の豪雨など、各地での災害の知らせを聞くたびに心が痛みます。しかし、先人たちが成し遂げた復旧・復興の歴史は、今も災害対策への情熱と、使命を全うしようとする多くの労苦によって、現在に連綿とつながっています。そのような意味からも、9月1日の防災の日を一つの契機として、ぜひ、ご家庭でも、防災への備えについて、お子様と話し合うなどしていただきたいと思います。

平和と安穏を願う節目の8月が過ぎました。お子様が穏やかで充実した学校生活を楽しめるよう、教職員一同全力を尽くします。2学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

### 9月の生活目標「あいさつをしよう」

#### 生活指導部

夏休みが終わり、多摩川小学校にこどもたちの元気な声が戻ってきました。こどもたちの表情から、充実した夏休みを過ごしていたことが伝わってきます。朝、「おはようございます」と笑顔であいさつを交わすと嬉しい気持ちになります。あいさつには不思議な力があります。2学期も「ありがとう」「さようなら」「またあした」とみんなで声を掛け合いながら、気持ち良く、楽しく過ごしていきましょう。

ご家族だけでなく、地域で見守りをしてくださっている皆様にも、積極的にあいさつするよう日々のお声掛けをお願いします。



### 「たてわり班活動・多摩小まつり」

### 特別活動部

たてわり班活動は、1年生から6年生までの全児童を15～16人ずつの36班に分け、異学年での交流を目的とする活動です。1学期は顔合わせの後、遊びを通して仲を深めました。6年生は班のリーダーとして下級生をまとめ、優しい前向きな声掛け、上級生としての責任感を身に付けています。また、下級生は、「こんな高学年になりたい」と憧れを抱いています。

「多摩小まつり」では、各班お店を出店し、自分達で企画・運営していきます。主役になって行動できるので、こどもが楽しみにしている行事の一つです。9月17日の本番に向け、1学期には各班で意見を出し合いお店や活動内容を決めました。やりがいや達成感を味わう活動＝「ウェルビーイングな学校」になるよう、互いに協力して取り組んでいます。今年度も、保護者の皆様は「参観のみ」となりますが、こどもたちが意欲的に活動する姿をご覧ください。来校の際は、名札と上履き、下履き入れをお持ちください。